# 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表

| 法人名 | 社会福祉法人<br>瑞穂会 | 代表者 | 手嶋寛人 |
|---|---|---|---|
| 事業所名 | 小規模多機能<br>やはぎ苑 | 管理者 | 後藤恒祐 |

| 法人・事業所の特徴 | 支援から介護度５まで医療依存度の高い対象者も受け入れ、多機能としての機能を目一杯運営に生かしている。高齢者家族、就労家族と支援体制も様々ながら、在宅での生活を維持可能に繋げる様に泊まりも適時に、夕食後の送迎も随時対応できるよう配慮している。今年度は人材不足の関係から十分な相談業務から利用拡大へは自粛し非常に厳しい一年だったと言える。４月には体制が整い再出発をかける。 |
|---|---|

| 出席者 | 市町村職員 | 知見を有するもの | 地域住民・地域団体 | 利用者 | 利用者家族 | 地域包括支援ｾﾝﾀｰ | 近隣事業所 | 事業所職員 | その他 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 人 | ３人 | ３人 | 人 | 人 | １人 | 人 | ３人 | 人 | １０人 |

| 項　　目 | 前回の改善計画 | 前回の改善計画に対する取組み・結果 | 意見 | 今回の改善計画 |
|---|---|---|---|---|
| A．事業所自己評価の確認 | 今回出来ている項目の継続および今回出来ていなかった地域との連携やサービス運営、質の向上などについて意識して業務に取り組むことができる | 地域との繋がりを考えながらの支援については少しづつ意識する事ができて来たが、研修等への取り組み不足もあり、質の向上には至っていない。 | 完全変則勤務体制の中で取り組んでいる事に違いはないが評価基準職員 2/3 以上をどのように工夫して会議への参加を促しているのか | 利用者支援をより具体的な具現化できる計画を評価から読み取り、年間・月間に落としＢＰＳＤに沿った計画とする |
| B．事業所のしつらえ・環境 | 初めて来苑される方にも分かりやすい事業所となるよう工夫する | 昨年度に比べ施設への理解は進んだが駐輪場の整備等の課題解決は次年度へ持ち越しとなる。 | 問４に対する設問意図が理解しずらいオレンジカフェや防災訓練等の機会を設け施設見学や意見交換会等の機会をより身近な所で創設していく必要がある | 積み残しの課題計画を提出する事で町内好立地にある施設を啓発し情報発信エリアを拡大する |
| C．事業所と地域のかかわり | 事業所自己評価同様、利用者が自宅で生活されている事で地域と繋がっている事や苑での支援にも地域の人々と協力している内容がある事、事業所も地域の資源の 1 つという事が理解でき、地域との関わりを意識する事ができる | 地域行事への参加、小学生のボランティア活動を通しての地域との繋がりを利用しての支援は増やすことができ、地域資源の利用への意識付けも進んで来ている。 | 挨拶はよくできている<br>事業所が年を重ねる毎に知られてきているが、相談場所としてつながる事は少なく事業所独自の特徴のアピールに欠けている | 地域に根付いた事業とする為に地域事業・行事に参画する機会を模索する |
| D．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み | 地域にある事業所の一員として事業所単体でなく様々な機関と協力する事ができる | 地域との繋がりへの意識付けは進むが、こちらから出向いての情報の発信等には至っていない。苑内新設の地域包括支援センターとの連携・協力。 | 事業所の立地を生かした評価は見て取れる。職員評価は厳しい目で望んでいる事が分かる、今後一層の地域との関わりを作っていく余地はあり、様々な情報を取組み活用すると良い。 | 更に進んでいく高齢者ケアの課題を多面的にとらえ支援体制の確保にも意識した取り組みを重視し独居であっても高齢者夫婦であっても在宅生活を支える事業所とする |
| E．運営推進会議を活かした取組み | 今後も運営推進会議の中で事業所の取り組みや改善点等を報告・相談する事ができる | 運営推進会議にて外部評価を頂く。施設見学や防災訓練の見学により様々な助言を頂く。 | 定期的な会議参加により事業所の状況把握は出来たが学区を超えた住民としては認知度に差が有り課題ではないか | 事業所周知活動を地域福祉活動の中に参入依頼し実践に移すと共に事業所課題については事例検討等に参画出来る様計画立案する |
| F．事業所の防災・災害対策 | 地域にある介護事業所として大規模災害時の役割を意識・検討する事ができる | 特養と協力しての防災訓練や事業継続計画の作成等により防災意識は高まっているが、、地域の介護事業所としての役割については認識が進んでいない。 | 過去の大規模災害を基に地理的理解を促す意見・発言・体験談を交えて意見多数あり。（水害対策中心） | 大規模災害時、地域の介護事業所としての役割が遂行できるよう意識した訓練を積み重ねる |